

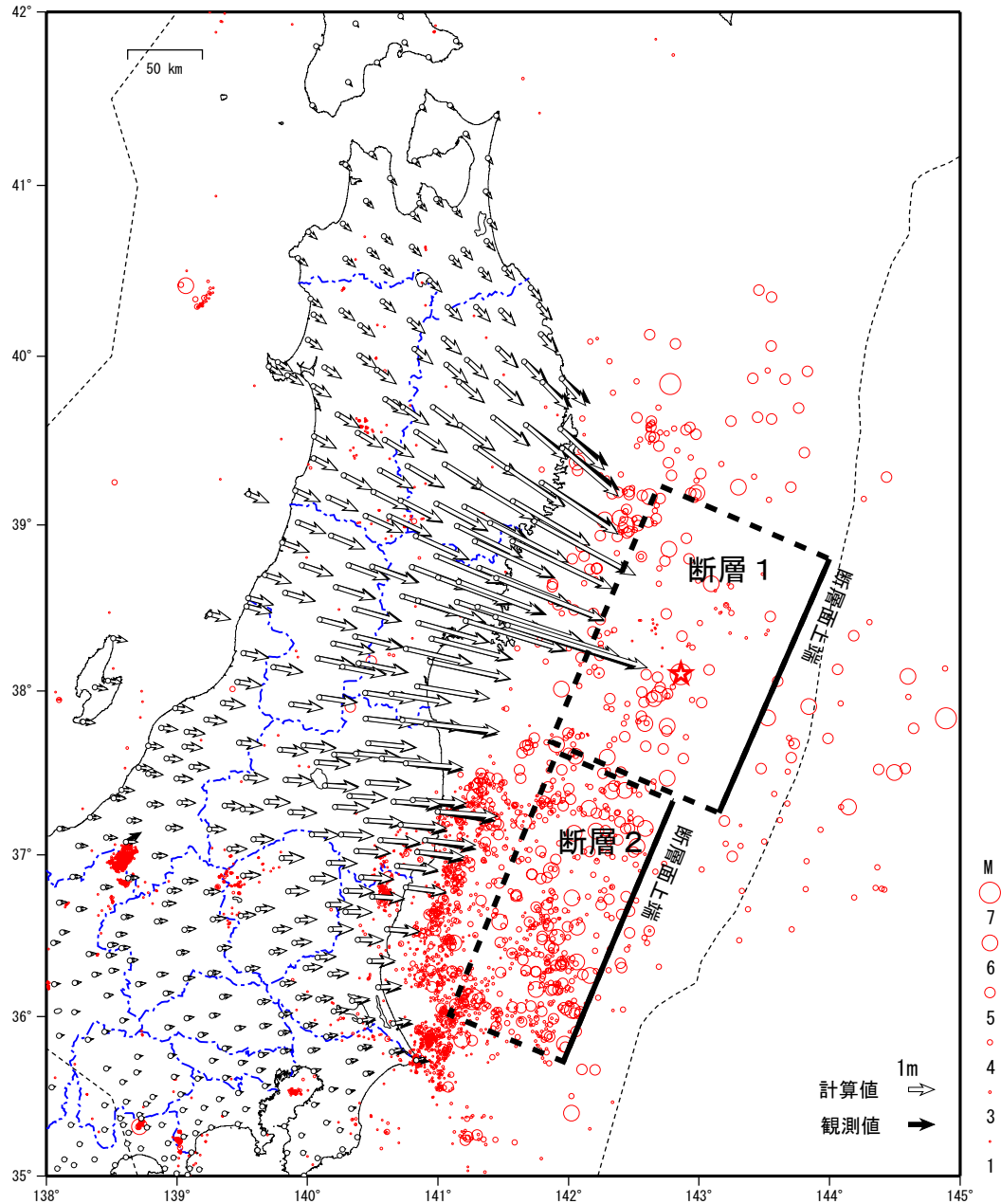
東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）の震源断層モデル

1. 水平変動

2011/03/10 - 2011/03/10 [F3 : 最終解]

2011/03/12 - 2011/03/12 [F3 : 最終解]

固定局 : 福江 (950462)



星印は気象庁の震央 (142.861° , 38.104°)。

矩形断層二枚での推定結果。

西側に傾き下がる逆断層。モーメントマグニチュードは北側が8.8、南側が8.3。2つ合わせて8.9（暫定）。

断層の長さは南北に約190kmの断層1と約190kmの断層2で合計約380km。

(断層の断層のすべりを矩形断層2枚で近似しているもので、実際の断層破壊領域はこれよりも広いと考えられます。)

赤丸は気象庁一元化震源 (3/11-3/15)。

	緯度	経度	上端深さ km	長さ km	幅 km	走向	傾斜角	すべり角	すべり量 m	Mw
断層1	38.80°	144.00°	5.1	186	129	203	16	101	24.7	8.8
断層2	37.33°	142.80°	17.0	194	88	203	15	83	6.1	8.3

Lat=38.80 Lon=144.00 D=5.1km L=186.2km W=128.5km Strike=203deg Dip=16deg Rake=101deg Slip=24.69m Open=0.0m Mw=8.8

Lat=37.33 Lon=142.80 D=17.0km L=193.9km W=87.9km Strike=203deg Dip=15deg Rake=83deg Slip=6.12m Open=0.0m Mw=8.3